

# 西大和つうしん

2016年 4月号  
No.406



<2016年3月13日:綿向山北尾根>

奈良県勤労者山岳連盟

西大和山の会

# 西大和つうしん

第406号(2016年4月号)

## 【目次】

4 月度山行計画.....	1
4 月度・5 月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
<b>山行報告</b>	
・例会山行 《2月21日》 播磨の山 明神山(坂口).....	5
・自主山行 《2月22日》 野坂山地 赤阪山～明王ノ禿(今井).....	6
・例会山行 《2月28日》 鈴鹿の山 霊仙山(中).....	7
・例会山行 《3月6日》 布引山地 錫杖ヶ岳(田中).....	7
・自主山行 《3月11日》 奥美濃 大日ヶ岳(橋本).....	8
・例会山行 《3月13日》 鈴鹿の山 綿向山(亀高).....	9
・例会山行 《3月20日》 台高の山 桧塚奥峰(藤井).....	10
運営委員会だより(2/27).....	11
室内例会だより(2/24).....	12

## 4 月度 例会 山行 計画

～太古の化石が残る室生小火山群の二山へ～

●2016年4月10日(日)

公開山行◆鈴鹿の山《鳥見山～貝が平山》

〔L:勝尾/緊連:〕

【集 合】 近鉄大阪線 榛原駅北口 AM9:00

【コース】 榛原駅～鳥見山公園～鳥見山～香酔山分岐～貝が平山～香酔山分岐  
～鳥見山～鳥見山公園～榛原駅

【歩行時間:約4時間】

★前日の19時のNHK天気予報で当地の降水確率50%以上の場合は  
中止します。

～山行の計画から実施、反省にいたるまでの手順、  
必要な装備や体力作りについて考えます～

●2016年4月17日(日)

教育山行◆行先未定

〔L:藤本/緊連:〕

【集 合】

【コース】

～アカヤシオ・イワウチワ…鈴鹿の春を訪ねる山歩き。～

●2016年4月24日(日):

例会山行2 ◆鈴鹿《岩ヶ峰～釈迦ヶ岳》

[L:玉越/緊連: ]

【集 合】上牧町役場前駐車場 AM6:30 発

【コース】八風キャンプ場・栃谷駐車場 [8:30 予定] ～(2:20)～岩ヶ峰  
～(0:20)～コバ [昼食予定] ～(0:30)～釈迦ヶ岳～(1:10)  
～中峠～(0:20)～八風峠～(1:30)～栃谷駐車場  
[15:30 予定]

# 西大和山の会 カレンダー

4 月		5 月	
1	金	1	日
2	土	2	月
3	日	3	火
4	月	4	水
5	火	5	木
6	水	6	金
7	木	7	土
8	金	8	日
9	土	9	月
10	日	10	火
11	月	11	水
12	火	12	木
13	水	13	金
14	木	14	土
15	金	15	日
16	土	16	月
17	日	17	火
18	月	18	水
19	火	19	木
20	水	20	金
21	木	21	土
22	金	22	日
23	土	23	月
24	日	24	火
25	月	25	水
26	火	26	木
27	水	27	金
28	木	28	土
29	金	29	日
30	土	30	月
		31	火

## 山行・行事等参加メモ

入会順		3/27 室内例会	4/10 鳥見山	4/15 教育山行 座学	4/17 教育実 山行	4/24 岩ヶ峰	4/3 ダイトレ	4/13 小塩山	5/8 事故対応 講習会
1	(窪田)								
2	都築	○	○	○	○				○
3	藤井	○	○			○			
4	(石田)								
5	多賀	○	○			○			
6	田中悦	○	○			○			○
7	島崎	○	○	○	○				
8	田中初	○	○					L	
9	村田		○						
10	林	○	○	○					○
11	辻	○	○	○	○	○	L		
12	勝尾	○	L	○	○	○			
13	藤本	○	○	L	L	○			○
14	杉村	○	○	○	○	○			
15	高橋	○	△	○	○				
16	玉越					L			
17	的場	○							
18	杉川			○	○				L
19	阪口	○	○						○
20	橋本	○	○	○	○				
21	今井	○	○	○		○			
22	亀高	○	○	○	○	○			△
23	松浪	○	○						
24	亀井	○	○	○	○				
25	船江	○		○	○				△
26	野路	○	○	○	○	○			
27	中		○	○	○	○			
28	杉森	○	○	○					○
	合計	22	21	17	14	12			7
	緊急連絡先		杉川		林	島崎			辻

## 例会山行 播磨の山 《明神山；667.9m》

【日 程】2月21日（日） 晴れ

【参加者】L 田中悦、田中初、藤井、島崎、辻、勝尾、杉村  
的場、玉越、阪口、今井、中、森川（13名）

【コースタイム】ゆめやかた駐車場 9：35～9：55 屏風岩～10：08 腰掛岩～  
10：25 五合目～10：55 地藏岩～11：35 山頂（昼食）12：15～  
夢展望岩～12：50～13：05 西の丸～13：55 ゆめやかた駐車場

今日は低山なので楽かなと思って来たが、車から降りて目の前にそびえる明神山の姿は、そんなに甘くはないぞと言っている様に尖がっている。急登を覚悟しながら登山開始。

すこし行くと、地元のおじさん1人がしゃべってきて、一緒に登りはじめる。大きい岩が出てくるたびに名前が付いていて、おじさんがその度に説明してくれる。そう言うところは展望台になっていて、瀬戸内海も見える。休憩をしながら登りはじめると岩がどんどん出てきて、岩登りの様な登山道になってきたのですが、ロープが張られていてとても整備された山だと思っていたら、おじさんが、これも自分達地元の人が頑張って整備していることを度々アピールしてきます。

チョットうざいなと思っていると、おじさんはその先に、がまん坂が出てくるからねなんて言い出し、本当に出てきた時は思わず笑ってしまった。お陰でそこからはひと踏ん張りで頂上に付くことができました。

山頂からは、隣の七種山が良く見える。今日は雪彦山は雲に隠れて見えなかったけど眺望の良い山だ。下山道も色々と面白い名前の岩や道。ふざけているのか、ド



ンピシヤなのか。とにかく地元の力の入れようが伝わってくる。おじさんとは結局最後まで一緒に下山する。変化に富んだいい山だった。

ぜんざいをご一緒しましょうと誘ったのですが、お断りされたので、お礼を言って別れた後、よく整備されたキャンプ場で、ぜんざいをいただく。冷えた体にしみわたる。用意してくださったリーダーさん、有難うございました。

（阪口 百合子）

## 自主山行 琵琶湖北西部の山：《赤坂山～明王ノ禿》

【日 程】2月22日（月）晴れのち曇り

【参加者】L 藤本・高橋・今井（計3名）

【コースタイム】マキノ温泉さらさ(9:04)～赤坂山・三国山登山口(9:12)～展望所〔衣服調整〕(9:28/33)～ブナの平東屋(10:00/11)～夏道・直登ルート分岐(10:50/58)～栗柄越稜線出合(11:04)～赤坂山山頂(11:17/22)～赤坂山北東肩〔昼食〕(11:26/45)～明王ノ禿(11:58/12:03)～この間三国山方面直登ルート調査～赤坂山山頂(12:33)～栗柄越稜線出合(12:44)～ブナの平東屋(13:17/25)～マキノ温泉さらさ(14:01)

行きたかった赤坂山へ平日の晴れ間に行く機会を得た。

ハイキングリーダー学校の雪山修了山行でテント泊を体験した思い出深い山。

今日は状況次第で赤坂山から明王の禿・三国岳にも行けるかもしれないとの事で始発電車に乗り、湖西線、バスを乗り継ぎ9時前に到着。

降り立ったさらさ温泉には雪も人も全く無かった。

夏道の登山口を入り、雪道が現れたのは東屋の少し手前。東屋付近には新雪の下に見える足跡が前日、日曜日の賑わいを窺わせる。積雪10cm有るだろうか、昨年の東屋は雪に埋まり、カマクラ状態だったのに。東屋で休憩後も夏道を進む中、栗柄越の標識や、雪の中に可愛らしいお地蔵さんを見つける。春山のような穏やかな雰囲気の中、山頂に到着。山頂で記念写真を撮り、北東へ少し下った所で昼食を摂る。



L・Fさんより、予報より早く天候が崩れている事、またこの先はトレースが無く、時間が掛かる為「明王の禿」まで行って様子を見るとの話がある。急な階段を2、3段降り進むと、ノートレ広がっていて気持ちが良い。良んの後ろを歩いて踏み抜いんより私の方が体重が重王の禿を目指す。三人で先中をルートファインディング太腿まで沈み、難儀しながら「明王の禿」にたどり着いて三国岳への取付点を確認して下山する事になる。



1. ースの雪景色が一面に。が積雪も多い。Tさてしまう。男性のTさい?等と話しながら明頭を交代しながら藪のグし、時には踏み抜きらも雪深さを楽しみた。今日はここまでと

短い距離だったが雪山のルートファインディングの楽しい時間だった。。また何時の日か明王の禿の山頂を踏める日が来る事を願って赤坂山へと登り返す。

山頂まで戻ると4、5人の方が休憩されていた。今日出会った唯一のパーティーだった。  
(今井 雅代)



## 例会山行1 鈴鹿の山 《靈仙山》

【日 程】 2月28日(日) 晴れ

【参加者】 A班：L 島崎、SL 今井、亀高、亀井、中

B班：CL 的場、SL 藤井、勝尾、橋本、船江、野路

【コースタイム】 樽ヶ畑登山口 8:52～汗拭峠 9:19～お虎が池 10:43～経塚山

11:10～最高点 11:35/12:15～靈仙山頂 12:30～お虎が池 13:02

～汗ふき峠 14:04～樽ヶ畑登山口 14:28

予想通り登山口付近には雪はまったくありませんでした。黄砂のせいなのか青空ではありませんでしたが春らしい暖かな日差しのなかで出発しました。

汗拭峠の小屋の無人飲料販売の水槽に残った缶ビールを見つけ一騒ぎしながら被服調整を終え女性陣は日焼け止めを塗ったり、マスクをつけUV対策もバッチリ！お虎が池の近くから山道が雪解けのためぬかるみ泥で重い靴で頂上をめざしました。

見晴らし岩あたりから窪地に少し雪を見え始めさやかな期待も出てきました。稜線にでるとところどころに雪渓が見られるようになりちょっと嬉しくな

りました。稜線にでると広い高原になり苔と石灰岩の岩がゴロゴロした登りで最高峰1026m、山頂のほうが少し低く1014mでした。福寿草は見られませんでした。50mほどサクサクとした感触を楽しみながら雪渓も歩くことができました。

登りはぬかるんでいた山道は下山の頃はすっかり乾き快適な下山となりました。  
(中 昌子)



山行報告

## 女性部山行 布引山地 《錫杖ヶ岳》

【日 程】 3月6日(日) 曇り

【参加者】 L 今井・SL 田中悦・藤井・田中初・中

【コースタイム】 登山口(加太・向井ルート)9:00～柚木峠 9:13～ベンチ

9:40/10:10～錫杖ヶ岳 10:36/10:45～テラス 11:09/12:

10～柚木峠 12:30/12:36～登山口 13:00

名阪国道向井インターから10分程で、登山口近くの林道脇の駐車場へ到着。身支度をして、植林の中の沢筋の緩やかな登山道を歩き柚木峠へ。ここから、左へ急





な尾根道を登って行くと、テーブルとベンチがあり「コーヒータイムにしましょう」と、リーダー手作りの栗パイとプレミアムコーヒーで、のんびりと一息入れ至福のひと時でした。

その後、木の根道、整備された階段の登り、ロープ・鎖場では足の位置を考え、急な岩場と格闘しながら登り切ると、山頂に一番に到着。山頂からの眺望は濃霧で望めなかったが頑張っ岩場を登った達成感で十分満足。

南に少し下った東屋で昼食の予定だったが、風が吹いていたので尾根道に戻り、山頂直下の急な岩場を慎重に下り、登りに休憩した手前のテラスで、リーダーの持参された豚汁をご馳走になり、食後に皆さんに戴いたお菓子とコーヒーでゆっくり休憩。

登山口に着いたのが早かったので、関インター近くの石山観音に立ち寄り、穏やかなお顔の石仏に「この様な顔のように年を取っていきたいね」と、談笑しながら馬の背や、沢沿いに彫られた石仏巡りを楽しみました。

(田中 初子)

## 山行報告

### 自主山行

### 奥美濃【大日ヶ岳 1.709m】

【日 程】3月11日(金)夜発～3月13日(日)

【参加者】L中武(労山)・SL藤本・藤田(労山)・勝尾・杉川  
今井・亀井・野路・橋本

【コースタイム】3月12日(土) なごみ舎(ロッジ)(7:40)～登山口  
(7:56/8:06)～稜線出会(9:39)～休憩地点(9:56/10:15)  
～いっぴく平(10:29)～頂上直下にて大休止(11:30/12:45)  
～大日ヶ岳頂上(13:24/13:35)～前大日ヶ岳(13:49)～ Gondola山頂  
駅(14:05/14:20)

A Gondola乗車組 高鷲スノーパーク・センターハウス  
(14:40/15:00)～なごみ舎(16:40)

B 歩行下山班 グレンデ合流(15:08)～センターハウス(16:  
23)～なごみ舎

3月13日(日) 白川郷方面観光

県連主催雪山登山学校第4回の補修として計画された山行。3月3日(木)に座学が行われる。実山行は、今年の雪不足の為訓練にはふさわしい山が定まらない様だったが、奥美濃「大日ヶ岳」に決定して下さった。



寒の戻りもあり少しは降雪があるかと期待していたが、思っていた以上に雪が少なかった。座学で雪山歩行は、アイゼンは使用しないで登下降する事が基本と学びアイゼンは装着せず大日ヶ岳の頂上を目指す。風もない快晴、暖かく登山道も凍ってなく真っ青な青空、柔らかい雪質の歩行がとても気持ちいい。高度を上げていくと白山、遠くは北アルプスが見えてくる。目指す山の方向を地図とコンパスを確認することを復習。(ハイキングリーダー学校で学んだ

が・・・やっぱり地図読みは難しい) Fさん、Sさんが頂上直下に雪のカフェテラスを作ってくださり、楽しく大休憩。山頂では、360度の展望が開け「白山」「御嶽山」「乗鞍岳」「伊吹山」など見渡せた。

前大日ヶ岳を経て下る。柔らかく歩きやすい斜面だが下山時はやはり滑りやすい。ピッケルをしっかり刺し歩く様注意される。座学で学んだV字歩行や山側加重など試しながら歩く。気温の低い真冬の斜面ではアイゼンなしでは、そう簡単には下れないだろうと思う。高鷲スノーパークのゴンドラ山頂駅まで下りそこで、ゴンドラで降りるグループと複雑な地形を下るグループとに分かれた。夜は、おいしい鍋料理を堪能し、楽しい反省会となった。

13日は、白川郷方面観光後今回の山行は終了となる。

(橋本 紀子)

## 山行報告

### 例会山行1 鈴鹿の山《綿向山》

【日 程】3月13日(日)

【参加者】L 亀高、SL 藤井、辻、的場、中 (5名)

【コースタイム】

御幸橋駐車場(8:07)～ヒミズ谷出合小屋(8:25)～あざみ小舎(9:05)～  
五合目小屋(9:27)～七合目行者コバ(9:45)～綿向山(10:20/10:30)～  
北尾根分岐(10:43)～P900(昼食 11:34-12:15)～オンパノフトコロ  
(12:32)～竜王山(12:53)～竜王山登山口(13:15)～御幸橋駐車場  
(13:42)

1月24日の悪天候による中止のリベンジ山行として林さんが計画された綿向山。しかし、リーダー含め体調不良者が続出し、リーダーを交代して少人数の山行となりました。私にとっては、会社の若手社員と行った2月に引き続き2度目のリベン

ジ山行。前回は頂上付近に美しい樹氷の林が広がっていましたが、今回はうって変わって春本番の陽気でした。

林道終点からの登り始めにヒミズ谷出合小屋があります。ヒミズ谷とは、谷が深く昼なお暗い「日見ず谷」が語源とのこと。そこから杉林の九十九折りを登ると、三合目のあざみ小舎、五合目小屋が整備されています。先月は両小屋とも登山者で溢れかえっていましたが、樹氷も期待できない今日は三合目に3人連れの先客がいただけで静かなもの。やはり綿向山は樹氷と雪の山なのでしょう。5合目小屋からは北西方向に三上山（近江富士）と琵琶湖、その向こうに山頂付近に雪を頂く比良の山が見えます。五合目小屋で九十九折りは終わり、7合目行者コバを過ぎると、先月アイゼンが必須だった冬道の直登ルートは閉鎖されており、巻き道を進み最後の急階段を登ると綿向山山頂（1110m）です。

山頂から真東に雨乞岳と鎌ヶ岳の雄姿が望め、南東方向に伊勢湾も遠望できました。綿向山とは、「わだつみ（海）に向かう山」というのが語源だそうで、近江の国には湖はあるが海はなく、鈴鹿山塊で最も西に位置し海が望める近江の山というのが、綿向山の名前の由来に関する最も有力な説とのこと。

今日は周回コースなので、展望を楽しむ間もなく北へ向かいます。尾根筋は展望が開けた笹の原で、広々と見渡せます。尾根筋に「ブナの珍変木」がありました。太い枝がドーム状になっており、くぐると幸せを呼びそうで、Mさんを含め全員が

くぐりました。雨乞岳に向かう北尾根分岐を過ぎると、急な下りが待っていました。粘土状の急斜面は滑りやすく、時折尻餅をつきながらの下降です。急斜面を過ぎると歩きやすい尾根筋で、900m前後の小ピークの一つで昼食を取りました。竜王山に至る尾根筋からは、歩いてきた綿向山や五合目小屋が時折展望できました。13:15に竜王山登山口に下山後、駐車場までの里道には梅や桃などの春の花が咲いていました。

（亀高 茂）



## 山行報告

### 例会山行1 台高の山：《桧塚奥峰》

【日 程】3月20日（日）曇りのち晴れ

【参加者】L杉村、S L田中悦、島崎、多賀、勝尾、  
今井、橋本、野路、杉森、藤井（10名）

【コースタイム】林道終点（7:40）～明神滝（8:40/8:50）～明神平（9:30）  
～明神岳（10:05）～判官平（10:35）～桧塚奥峰（11:08/11:50）  
～桧塚（12:05/12:10）～桧塚奥峰（12:25）～判官平（12:40）  
～明神岳（13:15）～明神平（13:42）～林道終点（15:15）

昨日までの雨はあがったもののすっきりしない曇天の中、明神谷に沿って登っていく。緊張する渡渉を三度ほどクリアすると豪快に流れ落ちる明神滝が現れる。雨の後で水量が多く、いつもにまして迫力があつた。滝を過ぎると谷から離れ、穏やかなジグザグの登りとなる。植林が自然林に変わり、高度が上がってくると、うっすらと枝に樹氷らしきものが・・・

明神平はガスに覆われていたが明神岳へのやせ尾根に上がると徐々に青空になり素晴らしい樹氷の林が続いている。積雪はないのにこんなにも美しい樹氷が見られるなんて、この素晴らしい自然の造形に巡り合えたことに感動と感謝！！

登山路の通過点のようなピークらしくない明神岳から東に方向を変え一旦下る。樹氷をまとったブナ林に苔や落葉のふかふかの広い道。ガスにまかれれば迷ってしまいそうだ。樹林が途切れると大展望が広がる。青空をバックに吉野の桜にも劣らない樹氷の花の見事な景観だった。強い北風に足を取られそうになるが、この風がこの美しい樹氷を作っているのだろう。強風に舞う氷のかけらが顔に当たって痛かった。



桧塚奥峰の陽だまりで展望を楽しみ昼食の後、桧塚に向かう。

ここまで来るとあまり人も入らず手付かずの自然が残っていて、台高、大峰奈

良の山は本当に素晴らしいと思う。帰りは同じ道をピストンするが行きに比べて樹氷の厚みがどんどん少なくなっているのが残念。

休憩を含めて 7 時間半、気持ちのいい歩行にさほど時間の長さを感じなかった。

(藤井 益子)

---

## 運営委員会だより

[日 時] 2016年2月27日(土) 15:00~17:40 事務所

[出席者] 島崎・辻・藤本・的場・勝尾・杉村・今井・橋本

### 1 第34期定期総会に議案書作り

- ① 第34期活動報告について
- ・自然保護部、教育部、女性部、会報部各部活動について検討及び修正
- ② 第35期活動方針(案)について
- ・自然保護部、教育部、女性部、会報部各部活動について検討及び修正  
上記修正後議案書を作成する。

### 2. 県連に関わる案件について

- ① 来期ハイキングリーダー学校は、2名派遣する。
- ② 来期雪山登山学校は県連行事としてとらえる。



上記については、3月6日の県連総会において決定後、受講条件、講習内容及び日程などの詳細を報告する。

③ 来年度の県連代表理事、常任理事選出について。

代表理事は、藤本さんを推薦する。

常任理事についてはオオヤマレンゲ山の会・こぶしの会・当会の3会の中から1名推薦しなければならない。各会色々と事情があるが、公平な決め方で決定するよう提案する

(記 橋本紀子)

## 室内例会だより

【日 時】2016年 2月24日(水) 19:30~20:55 事務所

【出席者】都築、藤井、田中悦、島崎、田中初、辻、藤本、杉村、高橋、玉越、  
的場、杉川、坂口、今井、亀井、野路、杉森、橋本

### 1. 山行案内

- |                             |      |
|-----------------------------|------|
| 3月 6日(日) 例会山行 2 布引山地《錫丈ヶ岳》  | L 今井 |
| 3月 13日(日) 例会山行 1 鈴鹿の山《綿向山》  | L 林  |
| 2月 20日(日) 例会山行 1 台高山脈《桧塚奥峰》 | L 杉村 |

### 2. 山行報告

- |  |                |
|--|----------------|
| 1月 24日(日) 初級教育山行 台高の山<高見山>                 | L 藤本 5名        |
| 1月 30日(土)~31日(日) 初級教育山行(雪山登山)北八ヶ岳連峰 <天狗岳>  | L 藤本 7名        |
| 2月 6日(土) 県連第4回雪山登山講習会実山行 比良の山<br><白滝山~打見山> | L 藤本 11名(他会2名) |
| 2月 11日(木) 自主山行 琵琶湖北東部<伊吹山>                 | L 藤本 6名        |
| 2月 14日(日) 例会山行 1 《京都トイソ第二回》東山コース(蹴上~銀閣寺)   | L 杉川 13名       |

### 3. 連絡その他

① 新入会員・杉森英二さんの入会あいさつ。

② 県連より報告

- ・4月3日(日)近畿ブロック搬出技術講習会に参加希望の方は、藤本さん迄  
(締切 3/20)
- ・4月17日(日)県連女性交流山行(丹波・向山)参加希望の方は今井さん迄。  
(締切日は3/15で定員30名になり次第締切)
- ・来年度の県連代表理事及び常任理事各1名の指名。(運営委員会にて検討する)
- ・来期ハイキングリーダー学校受講申し込み締切3月23日 参加者については  
会として2名程度指名の予定。
- ・来期雪山登山学校・・・座学8回、実山行12回予定受講申し込み締切  
3月25日。運営委員会にて検討し、募集の方法等を後日報告する。
- ・第4回雪山登山講習会2月5日座学、2月6日実山行実施。補習として座

学 3月3日、3月11日(夜)～3月13日実山行(霧ヶ峰、車山)

③ 当会連絡

- ・7月、8月室内例会は8月31日(水)2ヶ月まとめて行う。
- ・3月27日(日)総会 13:00～15:00。3月室内例会 15:00～。  
懇親会 17:00～。

4. 山行ヒヤリハット報告

2月21日(日)播磨の山「明神山」にて、岩場の急登を登っていた男性1人が滑った為、すぐ後ろにいた女性会員も巻き添えとなり、いきなり頭に衝撃があり気が付いた時には転がっていて、場所が悪かったら大きな事故に繋がっていた。近くにいた登山者がザックを持って止めてくださったので2人とも負傷しなかった。教訓として岩場、急坂を通過する際前後間隔を保ち歩行し、岩場はストック等は使用しない。

(橋本紀子)

# 西大和つうしん

第406号(2016年4月号)

2016年3月27日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 的場喜義

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>